

ダウ理論



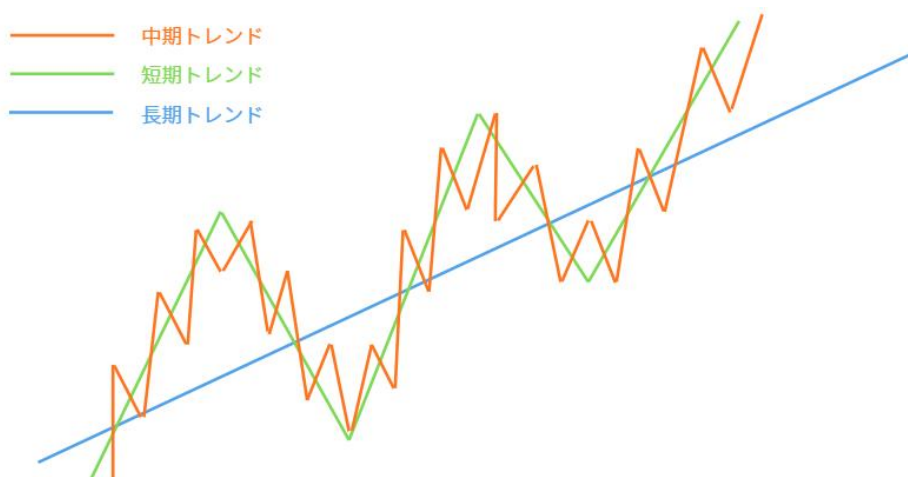
1.平均は全ての事象を織り込む

為替レートは「ファンダメンタルズ」、「投資家事情」の影響を受け、全ての情報は為替レートの値動きに反映されている。

→為替レートの未来を予想するには、値動きだけ見ていれば良い。

チャールズ・ダウの「**為替レートは全ての情報を織り込んでいる**」という考え方が、テクニカル分析の根源。

2.トレンドの3波動



FX でいうと以下のような振り分けになる。

長期トレンド→月足、週足、日足

中期トレンド→4 時間足、1 時間足、30 分足

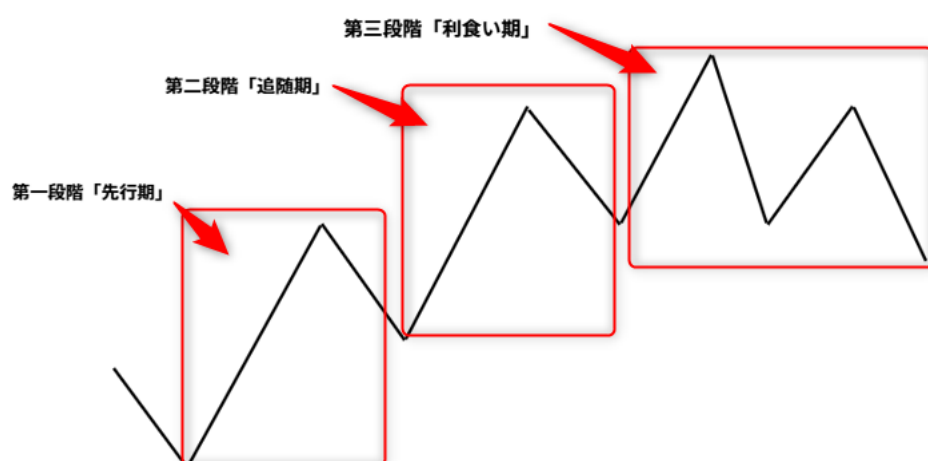
短期トレンド 15 分足、5 分足、1 分足

中期トレンドは長期トレンドの調整局面を示し、その修正幅は 33%～66%。→「3 分の 1 押し」や「3 分の 2 戻し」など。

為替レートの値動きは、「トレンド」によって支配されている。→トレンドに沿った取引をすれば良い！

トレンドは上位足が優先される→下位足の動きより、上位足の流れが相場の方向を決める。

3.トレンドの3フェーズ

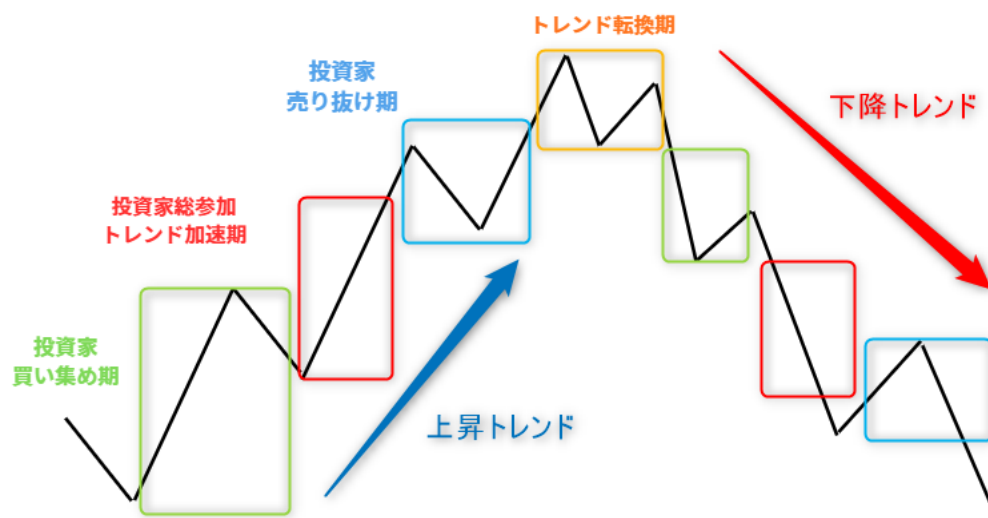


先行期：まだ気づく人が少ない初動。早い参加者が仕込み始め、静かに方向が出る。リスクが低く、伸び代が大きい。

追随期：流れが見えて参加者が一気に増える。値動きが加速し、もっとも伸びやすいメインゾーン。

利食い期：早く入った人の利益確定が始まり、勢いが弱まる。上下に振れやすく、天井・底が近づく。

少し細かくした場合のフェーズ↓



買い集め→トレンド加速→売り抜け→トレンド転換→売り集め→トレンド加速→買い抜け→トレンド転換→・・・

4.平均は相互に確認される

1つの値動きだけで判断せず、複数の市場や通貨が同じ方向に動いているかを見るという意味。

USDJPY →上昇トレンド
EURJPY →レンジ
GBPJPY →レンジ

USDJPY →上昇トレンド
EURJPY →上昇トレンド
GBPJPY →上昇トレンド

▶ バラバラ＝まだ様子見

▶ 全部同方向＝本物のトレンド

たとえばドルストレートがドル買い方向にそろい、同時にクロス円も上昇していれば、その動きは本物のトレンドと判断できる。

逆にどちらか片方だけなら、まだ様子見。

5.トレンドは複数の指標、出来高でも確認できる

複数の指標とは、インジケーターやオシレーターが同じ方向を示しているかを見ること。

出来高とは、一定期間中に成立した売買数量のこと。上昇トレンドが発生していれば出来高は増える傾向があり、逆に調整局面では出来高は少なく傾向がある。価格と出来高が反比例する場合は、トレンド転換の可能性。

FXは株と違って市場全体の実出来高が見えないため、「ティックボリューム（価格が動いた回数）」を使ったりします。

トレンド発生時にティックボリュームが増加していれば、多くの市場参加者が売買している可能性が高く、トレンドの信頼性も高まります。逆に、ティックボリュームが少ない状態で価格だけが大きく動いている場合は、一時的な値動きやダマシの可能性もあるため注意が必要。

また、「Volume」インジケーターや、各ブローカーの買いポジションと売りポジションの比率なども、実際の出来高ではないが、市場参加者の勢いや相場の偏りを把握する参考材料になる。ただし、これらは市場全体のデータではないため、あくまで補助的な判断材料として活用することが重要。

6.トレンドは明確な転換シグナルがあるまで継続する

相場では、現在発生しているトレンドは、明確な転換シグナルが出るまで継続すると考えます。上昇トレンド中は買い勢力、下降トレンド中は売り勢力が優勢なため、簡単には流れが変わらない。

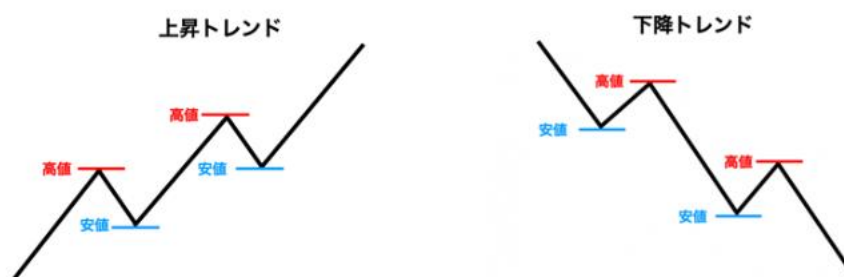
明確な転換シグナルとは、例えば以下のような状態

- ダウ理論でトレンド転換が発生する
- 移動平均線を大きく下抜け・上抜けする
- レンジ（保ち合い）へ移行する

多くの初心者は、「そろそろ反転しそう」という感覚だけで逆張りしてしまいます。しかし実際は、トレンドは想像以上に継続しやすい傾向がある。

そのため、“反転を予想する”のではなく、“転換を確認してから行動する”ことが重要。

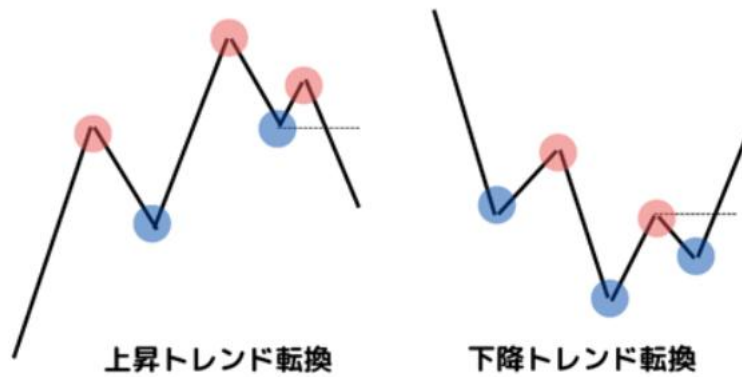
7.トレンドの見分け方



直近高値切り上げ、直近安値切り上げ → 上昇トレンド

直近高安切り下げ、直近高値切り下げ → 下降トレンド

8.トレンド転換の見分け方



トレンドは明確な転換サインがでるまで続く

上昇トレンド転換の定義：高値切り下げ安値切り下げ

下降トレンド転換の定義：安値切り上げ高値切り上げ

重要：現時点で、直近の最高値もしくは最低値を作った起点の押し安値、戻り高値をトレンド転換のポイントとした場合、トレンド転換の信憑性が増す。